

【ハンドメイド事業 ハチ除けトンボ作り が東愛知新聞に掲載されました】

蒲郡市シルバー人材センターは、草刈りに従事する会員をハチから守るため、日本最大の肉食トンボ「オニヤンマ」を模したブローチを手作りした。

センターは草刈りをはじめ、枝切りや草取りを担当する会員が約80人いる。作業中にハチに刺さ

草刈りする会員へ「ハチの天敵」オニヤンマのブローチ配布

蒲郡市シルバー人材センター制作

れる事故が発生していることから、被害を止める方法を考えていた。オニヤンマのブローチを帽子に付けると、ハチやアブの対策になると、ハチやアブよけグッズとして販売されているが、高額だったため、市販の材料を使って手作りした。

オニヤンマは黄と黒の意したクリアファイルやしまじろう様を持つトンボ。ストロー、テープなどを体長は約10センチと大きく飛べない、ブローチを完成させる能力に優れており、ハチやアブを空中で捕食する。ハチの天敵だ。

2日、神明町のセンターは「業務を安全第一に取組むよう、ハチの危険なリスクを減らしたい」と話した。【林大二朗】

ブローチを作る会員＝蒲郡市シルバー人材センターで

といる。さらに「インスタグラムで徐々の注目を増やし、国内外の作品を集められれば」との展望を示した。

参加店は「Fond BROWN」「蕎麦匠まつや」「すもも」「たて焼き酒場ボルボ」「BROWNNS」「HELM BAR&DINING SPACE」「本気炭火焼鶏さし」「萬珍軒」「カドフラ」。

握る

奉 壽 司 出前迅速 11:00 *** 21:30



皆さん、集中して作業しています。



作成したトンボたち



取材の様子

2023年6月3日 東愛知新聞